



JAPANESE RED CROSS TOYOTA COLLEGE OF NURSING

Vol.35

ITOSUGI

いとすぎの丘



日本赤十字豊田看護大学



01 大学行事

卒業式・入学式

02 就任あいさつ

03 卒業生インタビュー

04 学校生活

RCT☆LINK

写真で見る学生生活
キャンパス紹介

05 Information

日本赤十字豊田看護大学

発行日/2022年5月

学長メッセージ

「今の自分を超えていく」 意志の強さを

学長 鎌倉 やよい

2022年3月には、東日本大震災から11年となります。福島原発事故は未だ廃炉への道筋は立っていません。今、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻があり、多くの人々が命を落としています。さらに、ウクライナの人々は、チェルノブイリ原発事故から、ようやく日常をとり戻したにもかかわらず、ロシアによる原子力発電所への攻撃がありました。

本学は人道の教育理念のもと、「地球に寄り添う看護」を謳っています。私たちは世界の平和を求めます。そのためには、地球規模の大きな視野をもって世界を見ること、持続可能な社会を目指すこと、多様性を認めること、コミュニケーションが重要です。

卒業生・修了生の皆さん、医療人として明確な目



標を持つこと、自分の考えを表現すること、地道な努力を重ねること、「今の自分を超えていく」意志の強さが皆さんの夢を実現する鍵です。さあ、一步を踏み出していきましょう。

入学式

入学式

令和4年4月2日(土)本学講堂にて、入学式を挙行了しました。

明るい日差しの下、桜の花も満開となり、本学は、新たに学部生139名、看護学専攻生10名（修士課程9名・博士課程1名）を迎えました。

規模を縮小しての実施となりましたが、新入生に

とって希望に満ち溢れた新たな第一歩の日となりました。

新型コロナウイルス感染防止対策として、入学生、保護者1名のみ列席とし、関係者の皆様にはライブ配信でご視聴いただきました。

新入生挨拶

小野 怜香

私が看護師を志したきっかけはメディアを通して被災地のことを知ったことでした。災害の多い日本ではたくさんの方が被災され苦難の日々をすごしています。少しでもその方々の役に立ちたいと考えたときに被災地で被災された方々の心身のケアをされる看護師がいることを知り、私も辛い思いをされる方の外傷の治療だけでなく不安や悲しみも癒す事ができるような看護師になりたいと考えようになりました。

本学に入学し、期待と不安に胸を震わせながら看

護師という夢を実現するための第一歩を踏み出しました。これから4年間、本学で看護の基礎知識はもちろんのこと、赤十字社に関する本学でしか学べない赤十字基本七原則の一つである「人道」や災害看護、国際救護についても理解を深め、身に付けていきたいと考えています。夢の実現のために一歩ずつ邁進していきたいです。



卒業生挨拶

「4年間を振り返って」

坂原 亜実

4年前の春、私たちは看護の道へ進むことができる喜びと、新しい学生生活への期待や不安を胸に抱き、本学に入学しました。専門科目の学習内容や看護技術の難しさに何度も心が折れそうになりましたが、同じ志を持つ仲間の支えや先生方の丁寧な指導のおかげで、看護について学びを深めることができました。

そして、看護学実習では、多くの貴重な経験を積むことができたと考えます。毎日、緊張と不安な気持ちを抱えながら、常に患者さんのためにできるこ

とは何かを必死に考えていました。時には、患者さんの個性に沿った看護について頭を悩ませることもありました。しかし、看護の難しさを痛感する一方で、看護ケアを実施した際の患者さんからの感謝の言葉などから、やりがいや看護の楽しさを感じることもできました。

今後も、4年間で得た経験や知識、技術を忘れずに、さらに成長していけるよう、自己研鑽に努めてまいります。



学生表彰

毎年、成績優秀な学生を表彰しています。
令和3年度受賞者一覧（※令和3年度の学年です）

■学業において大変優れた成績をおさめた学生

1年生 西田紋巳 2年生 額綱由衣
3年生 篠原実希 4年生 末廣崇人

■課外活動において功績があった学生

3年生 中村梨乃 3年生 二村圭祐
3年生 山崎泰己 3年生 上田晃太郎

■私立看護系大学協会会長表彰

4年生 末廣崇人

■最優秀卒業論文に選ばれた学生

4年生 栗田千聖
「血圧測定時の衣類による影響-血圧測定方法と対象者の個人的背景についての検討-」

4年生 小出楓菜
「マスクの着用による表情読み取りへの影響」
4年生 和田桃茄

「地域別にみた高齢者施設における避難確保計画の比較-東海豪雨災害による被災-」

在学生からのメッセージ

自治会長 谷口 あかり

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。日赤豊田看護大学へようこそ！日赤豊田看護大学では、看護を学ぶための実習室や図書館などが充実しており、日赤ならではの災害支援の活動についても詳しく学ぶことができます。また、サークル活動ではDMACや献血サークル、実際にカンボジアへ行き

現地の子どもたちに健康教育をするサークルなどが存在し、他大学では経験できない日赤生ならではの体験ができます！

新入生のみなさん、大学生活が充実したものになるよう、全力で学び、全力で楽しんでください。在校生一同、新入生のみなさんを応援しています。



02 就任あいさつ



学部長 山田 聡子

2022年度より学部長を拝命いたしました。歴史ある本学の学部長という大役に身の引き締まる思いです。皆様、どうぞよろしくお願い申し上げます。

この場を借りまして自己紹介をさせていただきます。看護学を専門にするきっかけは高校3年生の夏に遡ります。シスターで看護職でもあった校長先生が、別分野への進学を準備していた私に「看護学に進むといいわよ」と、看護の未来を語ってくださいました。影響を受けた私は藤田保健衛生大学（現藤田医科大学）に進学し、卒業後は、臨地実習中に一番「もっと知りたい」と思った脳神経外科病棟で臨床看護師としてのスタートを切りました。たくさんのお患者さんやご家族との出会いや別れ、難しい症例に最善の看護を提供する難しさややりがい感など、すべてが今に繋がっています。病棟での指導者役割を担い始めた頃、教えるための知識や技術のなさを痛感し、東京医科歯科大学大学院博

士前期課程に進学しました。その後、愛知県立看護大学で教員生活を始め、中部大学で学科新設に携わる機会をいただき、2014年に本学の基礎看護学領域教授として着任し今に至っています。

研究活動としては、臨地実習をテーマに名古屋大学大学院博士後期課程で博士号（看護学）を取得しました。臨地実習は、看護学教育においてなくてはならない、他分野には無い独特な教育方法です。講義や演習での学びが、実習で実感を伴う学びに深化します。実習経験は学生の心を揺さぶり、看護職者としての基盤となります。

感染症の拡大をきっかけにして、急進したDXを追い風に、本学においても看護学の教育方法を創造的に再構築する局面を迎えています。本学の教育理念に基づきながら、慎重に丁寧に未来につながる看護学教育を構築し、皆様のご支援をいただきながら進んでまいりたいと存じます。



研究科長 百瀬 由美子

令和4年度4月に着任し、大学院研究科長を拝命致しました、百瀬由美子でございます。本稿では、簡単な自己紹介と研究科長としての抱負を述べさせていただきます。

看護師としての主な臨床経験は、愛知県がんセンター病院、長野県がん検診・救命救急センター、及び松本市が受託した厚生省訪問看護モデル事業における訪問看護活動です。大学教育としては、信州大学医学部から愛知県立大学看護学部へ移動し、学部長、大学院研究科長、そして副学長として大学運営も学ばせていただきました。前任校では、看護系大学の新設が続き競争が激化する中で、質の高い教育を保証するために、看護学部内の教職員の結束力により、カリキュラム改正やCOVID-19感染予防対策を徹底しながらの遠隔授業等の活用も柔軟に対応することができたことは、自身にとって貴重な経験となりました。学内外の

皆様のご理解とご協力の賜物と感謝の気持ちでいっぱいです。他方、学問領域の異なる複数の学部から成る中規模大学における大学改革というミッションの達成には、多様な価値を受け入れ、理解することも含め、多くの困難を体験しました。研究について個人的には、これまでの臨床経験と教育活動の中で感じた疑問から主に在宅ケア、認知症高齢者のケアに関する研究課題に取り組んでまいりました。このような経験を生かして、本学の経験豊富な教授陣に加え、博士後期課程では共同看護学専攻という5大学の多様な専門性を有する教授陣による研究指導が受けられるという強みを生かし、看護実践の質向上に資するエビデンスを創出する優れた研究者を継続的に輩出することを目指し、研究科長としての職責を果たしていきたいと考えております。

03 卒業生インタビュー

新規企画

現在本学で産休代替教員として働いている倉光紗恵子さんにインタビューしました。



■卒業後はどんなキャリアを積んで来られたのですか。

2016年3月に本学を卒業した後、日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院の手術室で4年間勤務しました。2020年4月から教務補佐員として本学に採用され、2021年8月から産休代替助手に切り替えとなりました。

■どんなきっかけで本学の教員になったのですか。

名古屋第二病院を退職した理由は、ワーキングホリデーに行きたかったからなのですが、新型コロナウイルスの影響で海外への渡航ができなくなり、困っていた時に、本学の教員に誘われたのがきっかけです。

■その誘いを引き受けたのは何か理由があるのでしょうか。

病院では4年目となり新人教育を担当していて、臨床に出る前の学生に関わるのも自分にとって良い経験だと思ったこと、自分の勤務していた手術室の仕事があまり学生には知られていなかったのを伝えることができたこと、そしてやはり母校からの誘いだったことが大きかったです。

■最初は教務補佐員として採用されたとのことですが、すぐに学生に関わることができたのですか。

最初は資料整理などが多かったのですが、徐々に学生と関わるが増えていきました。

■教員になって苦労したこと、うれしかったことは何ですか。

入職してくる新人看護師は国家試験も合格していて、ある程度知識や技術を身に付けてこの世界に入ってくるのですが、学生は知識も技術もこれから身に付けていく段階ですので、どうしたらわかりやすく伝えられるかに最初は苦労しました。また、私が手術室の経験しかなかったので、病棟での看護展開がわからないことも多く、私自身にとっても勉強の毎日でした。

うれしかったことは、2年目に実習に行ったとき卒業生から声を掛けられたことと、自分が教えたことに対して「そういうことだったんだ」と学生が納得し、理解してくれた時ですね。自分の教え方に自信が持てました。実習が終わった後に学生から手紙をもらったこともうれしかったです。



■実習にも行かれたそうですが、これまでは病院のスタッフとして受け入れる側の立場だったわけですが、教員として病院に行くという全く逆の立場になったことでの苦労はありましたか。

技術や知識において病院の看護師が求める「新人さんにはこれくらいまではできてほしい」というレベルと学生の現時点でのレベルにはギャップがあります。そのギャップを埋めるためにどうするかは苦労しました。他の先輩の先生に相談しながら、時には「ここはまだ学校でも教えていないんです」と看護師と学生の間にいることもありました。

■途中で教務補佐員から産休代替助手に切り替わったとのことですが、産休代替助手になって何か変わったことはありましたか。

研究室がもらえたことでしょうか（笑）。でも学生と関わる機会は増えたと思います。

■教育は楽しいですか。

大変だと思いますが、楽しいです。今は新型コロナウイルスの影響でその対応も必要になりますが、それでも楽しいです。

■倉光さんは学生と年齢が近いこともあり、相談を受けたり悩みを打ち明けられたりすることも多かったのではないですか。

そうですね。上の先生には言いにくいことを私に言ってくれる学生もいました。

■ここでの経験を今後のキャリアにどう活かしたいですか。

私は来年度から臨床に戻ります。学生が実習先で頑張っているのを見て、自分もまた患者さんと接したいという思いが芽生えてきました。教える側に立った経験ができたことは、今後後輩の指導にも役に立つと思います。

■最後に学生にメッセージを。

何事も続けていくことが大事です。私も手術室に配属になったときは予想外で不安や迷いもありましたが、続けていくうちに楽しさも見つけられるようになりました。あとは苦しくならないように頑張ってください。新人のうちはわからないこと、出来ないことも多いですが、それは当たり前です。わからないことを「わからない」と言うことも大切なことです。わからないことは後で調べて理解したらいいのです。看護師は生涯勉強です。頑張ってください。

04 学生生活

RCT☆LINK

4年 松浪 愛果

皆さん大学生活はいかがお過ごしでしょうか。私はとても充実した大学生活だと感じています。私はコロナ禍前の1年生の時にアフリカに行きました。その際、サファリカーで野生のゾウやキリン、ライオンを見たり、狩りをして暮らす先住民と狩りに出かけたり、マサイ族とマサイダンスを踊ったり、無限に広がる知らない世界にとってもわくわくしたのを覚えています。それから、私は1年前から畑で野菜を育て始めました。小講義室1つ分程度の畑です。自然や食が大好きな私にとって太陽の下で土に触れ、野菜と向き合う時間はとてもとても豊かな時間になっています。また、現在コロナ渦ではありますが、オンラインでたくさんの学びが得られる機会があります。私は助産師になりたいので海外における出産のお話や、はたまた環境問題や社会問題に関するお話を聞いたり、オンラインのコミュニティでそれらについて意見交換をする場に参加したりもしています。知らないことを知ることは人生の選択肢を増やすことに



繋がると体感しています。もちろん、大学での看護の学びはとても興味深くて、友達と過ごす日々は笑いが絶えず、1日1日を大切に過ごしたいと思う日々であることは言うまでもありません。しかし、一度きりの大学生活です。日々忙しいけれど、興味を持ったことに挑戦してみることでどんどん新しい世界が開けて、自分の人生をとっても豊かにしていけると思います。看護学生ではありますが、その枠にとらわれず、ほかの分野であっても、これからも好きなこと・興味のあることに対してわくわくし、挑戦してみる気持ちを大切に、尊い大学生活を大切にしていこうと思います。

写真で見る学生生活



本学食堂・体育館棟にある掲示板には、卒業生の就職先から届いた「卒業生からのメッセージ」が掲示されています。実際に看護師として働きだした中で嬉しかったエピソードや、在学時に得たどのような知識・経験が臨床現場で役に立ったのかなど、後輩たちに向けたアドバイスや励ましのメッセージが笑顔の写真付きで載っています。先輩がどこでどのように活躍しているか分かったと共に、就職先を考えるうえで参考になる情報がたくさん掲載されています。

キャンパス紹介

「災害救護用備蓄倉庫」

本学の体育館棟1階に災害救護用備蓄倉庫があるのをご存知ですか？

この中には日本赤十字社愛知県支部の救援物資である毛布やタオルケット、日用品の入った緊急セット、避難所で快適に眠れるようウレタン製のマットやアイマスクが入った安眠セットなどが備蓄されており、災害時には被災地に搬送されます。

また、本学は、大規模災害時に日本赤十字社の災害対策本部および救護所が設置可能な設備等（酸素吸入装置、無線設備、衛星電話）を有しています。



05 Information

令和4年度入学試験結果

学部 入試区分	定員	志願者数	志願者倍率	受験者数	正規合格者数	実質倍率	入学者数
大学独自選抜	40	326 (41)	8.2	319 (41)	134 (9)	2.4	56 (5)
大学入学共通テスト利用選抜 (前期A)	6	103 (10)	17.2	103 (10)	31 (1)	3.3	5 (1)
大学入学共通テスト利用選抜 (前期B)	6	123 (14)	20.5	123 (14)	34 (5)	3.6	2 (0)
大学入学共通テスト利用選抜 (中期)	-	2 (0)	-	2 (0)	2 (0)	1.0	1 (0)
大学入学共通テスト利用選抜 (後期)	6	15 (1)	2.5	12 (1)	6 (1)	2.0	4 (1)
高等学校長推薦選抜	30	51 (3)	1.7	51 (3)	46 (2)	1.1	46 (2)
赤十字特別推薦選抜	30	24 (2)	0.8	24 (2)	23 (2)	1.0	23 (2)
社会人特別選抜	2	2 (1)	1.0	2 (1)	2 (1)	1.0	2 (1)
計	120	645 (72)	5.4	622 (71)	270 (20)	2.3	139 (13)

学部 入試区分	定員	志願者数	受験者数	正規合格者数	実質倍率	入学者数
大学院入試 (修士課程)	第1回	2 (1)	2 (1)	2 (1)	1.0	2 (1)
	第2回	7 (2)	7 (2)	7 (2)	1.0	7 (2)
大学院入試 (博士課程)	第1回	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	0 (0)
	第2回	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1.0	1 (0)

※ () 内は男子学生数再掲。倍率は小数点以下第二位を四捨五入。

大学院入試 (博士課程) 定員は北海道・秋田・広島・九州と本学合わせて計10名。令和4年度の本学定員は2名。

Event (4月~10月)

■ 大学行事

4月	2日 (土)	入学式	8月	19日 (金)	オープンキャンパス
	4日 (月)	前期授業開始	9月	3日 (土)	第1回大学院入学試験
5月	1日 (日)	日本赤十字社創立記念日		26日 (月)	後期授業開始 (学部)
6月	11日 (土)	大学院説明会	10月	1日 (土)	オープンキャンパスmini
7月	23日 (土)	オープンキャンパス		3日 (月)	後期授業開始 (修士・博士)

令和4年度公開講座・専門職向け研修会日程

■ 公開講座

日時	担当領域	テーマ
令和5年3月18日 (土) 10:30~12:00	第1部 小児看護学	第1部 安心できる子育てのヒント ~子どもの心と身体の特徴を知って、楽しく子育てしましょう~
	第2部 専門基礎	第2部 子どもの歯と口の健康

■ 専門職向け研修会

日時	担当領域・講師	テーマ	備考
令和4年9月17日 (土) 13:00~16:00	基礎看護学	はじめての臨地実習指導~病院篇~	Zoom開催
令和4年10月29日 (土) 13:00~16:00	一般教養	臨床で使える英会話 (仮)	未定
令和4年12月17日 (土) 13:00~16:00	岐阜大学 川上ちひろ先生	対応に配慮が必要な看護師の育成	Zoom開催
令和5年1月21日 (土) 13:00~16:00	在宅看護学	はじめての臨地実習指導~地域・在宅看護篇~	Zoom開催
未定	在宅看護学	臨床における研究倫理 (仮)	Zoom開催

05 Information

令和4年度 新入教職員

研究科長・特任教授	百瀬 由美子	在宅看護学
助教	西久保 ひろみ	基礎看護学
助教	谷口 純平	成人看護学
助教	山本 壮則	精神看護学
助手	草深 真菜	母性看護学
助手	福岡 友理恵	基礎看護学

学務・入試統括	参事	ロベル 智子
学務課	主事	松原 なつほ
総務課	主事	寺本 庄吾
経理課	主事	澤村 瑛美
図書館課	司書	水野 真理子

寄付について

募集期間：令和3年4月1日～令和4年3月31日

寄付総額：5,573,857円

ご芳名：ご寄付いただきました方々への感謝の意を込めまして、ここにご芳名を掲載させていただきます。

新美達也様、齋藤真司様、岡田義久様、豊田クラシックを聴く会様、
奥長川名水株株式会社様、愛知県赤十字有功会様、日本赤十字社看護師同方会様、
日本赤十字豊田同窓会様、日本赤十字豊田看護大学後援会様

※10,000円以上のご寄付をいただいた方を掲載しております。匿名希望の方は表記されておりません。

寄付用途：下記の用途などにご寄付を使わせていただきました。

- ・感染症防止対策用パーテーションの設置
- ・演習用モデル人形の整備（排泄援助モデル3体、多職種連携モデル1体）
- ・看護関係図書整備 など

ご支援を賜り心より御礼申し上げます。

寄付のお願い

教育研究環境充実のための設備や教育資材等を適時、適切に整備し、学生に対して十分な教育環境と学生生活の支援を行うことを目的として、日本赤十字豊田看護大学サポーターズ募金“いとすぎ募金”を創設いたしました。

“いとすぎ募金”の趣旨をご理解・ご賛同いただき、皆様からのご支援ご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。

1. 活用方法

①教育活動の充実 ②研究活動の充実 ③奨学金制度の充実 ④学生生活の支援 ⑤施設整備の充実 ⑥社会連携の推進

2. 金額 1口 5,000円(個人) 1口 10,000円(法人) ※1口から10口程度お申込みいただけますと有難く存じます。

3. 税制上の優遇措置

本学への寄付金は、税制上の優遇措置（寄付金控除）を受けることができます。

申込方法等の詳細は、ホームページをご確認ください。

ご寄付のお願い (<https://www.rctoyota.ac.jp/general/donation.html>)

最新情報をチェック!

入試情報や最新情報を発信しています

LINE 公式アカウント



Instagram



JRC.TOYOTACOLLEGE

Twitter



愛知県内の赤十字施設の共同Instagramも開設しています【@nisseki_aichi】

編集後記

若葉の緑が鮮やかになり、さわやかな季節となりました。今年度より、「いとすぎの丘」をさらに魅力あるものにするため、新たなコンテンツを加え、リニューアルしました。

在校生の大学での生活の様子、実習・就職活動を終えた学生や大学院在学中の卒業生など卒業後のキャリアアップを伝えるための記事を掲載していきます。

「いとすぎの丘」Vol.35では、卒業生の晴れやかな姿や入学式の様子、大学の活動に加え、「キャンパス紹介」、「卒業生インタビュー」をお届けしました。この場をお借りしてインタビューや執筆にご協力いただきました皆様に感謝申し上げます。今後ともご協力のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

いとすぎの丘 | Vol.35

発行日/2022年5月

編集・発行/日本赤十字豊田看護大学

入試・広報委員会、企画・地域交流課

〒471-8565 豊田市白山町七曲12-33

TEL 0565-36-5228 (ダイヤルイン)

FAX 0565-37-8558

E-Mail kikaku-ka@rctoyota.ac.jp

HP <https://www.rctoyota.ac.jp/>